

# のぼりべつ

の 広報

5月31日(土)、千歳町のふれあい農園で、学校の週休日を活用して、幌別小、幌別東小、幌別中の3校合同で田植えが行われました。

あいにく、雨の中の田植えとなりましたが、苗を片手に児童・生徒160名は土の感触を楽しんでいました。

人が輝き まちがときめく ふれあい交流都市 のぼりべつ

特集

ボランティアってなに?  
福祉ってなに?

# ボランティアアッてなにっ?

## 福祉アッてなにっ?

「ボランティア活動」とか「福祉の充実」という言葉をよく耳にします。しかし、耳にはしていても、その意味を真剣に考え、自らの生活に取り入れ実践している人は、あまり多くはありません。

「ボランティア活動をしている人」に会ったり、話を聞いたとき、みなさんはどう感じますか。

「立派な人だなー」とか「ひまなんだなー」とか「時間があれば私もできるのに」と思ったことがありますか。

「福祉の充実」という言葉を聞いたとき、「福祉アッて、国がするんでしょ」、「税金払ってるんだから市がやればいいじゃない」と考えたことはありませんか。

「ボランティア活動」や「福祉の充実」とは、興味のある人や国や市などの行政だけで行うことなのでしょうか。

高齢化社会の到来が叫ばれ、真剣に「福祉」を考えなければいけない今、もう一度「ボランティア」や「福祉」について考えてみませんか。

暮らしのなかの  
ボランティア

「ボランティア」とはなんでしょう。  
「ボランティア」を辞書で調べると  
「奉仕者。無報酬で福祉などの事業活動に参加する人」と書かれています。

「ボランティア」という言葉が一般的になる前に、ボランティア活動を紹介するときに使われていたのは「慰問」や「慈善」が一般的でした。

「慰問」とボランティアは同じ意味でしょうか。

「慰問」を辞書で調べると「見舞ってなぐさめる」と書かれています。確かにボランティア活動にはなぐさめるという活動もあるかもしれません。

しかし、全体から見るとほんの一部のことですべてが「なぐさめ」のために行っているわけではありません。

それでは「奉仕」なのでしょうか。奉仕とは「奉（たてまつ）る」「仕（つか）える」という言葉が表しているように、どちらかといえば上下関係を意味しています。ボランティアをする人とボランティアを受け入れる人の間に上下関係はありません。ボランティア

は弱者に対する慈善活動ではないのです。それでは、ボランティアは特別な人が行う活動なのでしょうか。



ボランティア活動は、だれかに強制されて行うものではなく、自発的に行うもので、市民が自由な意志で福祉へ参加するものです。見栄や虚勢で行うものはありません。「ボランティアを行っている人は立派な人で、ボランティアを行っていない人はやさしくない人」でもないのです。

ボランティアを語るときに、その基本となるのが「ノーマライゼーション」です。

「ノーマライゼーション」とは、障害を持つ方や高齢者が、隔てなく、住み慣れた地域で、あたり前の生活をしていくという考え方で、そのあたり前の生活をしていくときに、少しでも手助けをする。これがボランティアではないでしょうか。

例えば、目の不自由な方が、信号の前で立ち止まっている。ちょっと一声かけて、手助けをする。これもボランティアです。

日常生活のなかで、ちょっと周りを見渡してみませんか。

ボランティアは私たちの暮らしのなかに見えてきます。

みんなで  
福祉を  
つくりませんか

市は、「福祉の充実」のために、さまざまな事業を行っています。

心身の障害を持つ方への福祉としては、身体に障害を持つ児童の機能回復訓練などを行う肢体不自由児通園施設「のぞみ園」や心身に障害を持つ方が社会に適応するための軽作業を行う小規模通所授産施設「すずかけ作業所」、言語の障害の治療を目的とする「幌別小学校言語治療教室幼児部」などを設置しています。



ボランティアは、考えているだけでは始まりませんね。とびこまなきゃ何もわからない。

「勇気」と「自主性」。そこからボランティアは、始まります。

グリーンコート三愛へボランティアに来ていただく方には、まず、車いすや歩行器を使ってもらい、介護される方の立場や気持ちを理解してもらいます。

介護ボランティアは、体の介護だけではなく、心の介護がとても重要です。心の介護は、互いの信頼感を得ることから始まります。短期間では難しいかもしれませんが、相手を思いやる心、大切に思う心は必ず通じますよ。ボランティア体験月間は、その心の介護の糸口をつかむチャンスですね。

また、高齢者や心身に障害のある方への福祉としては、身体の弱いお年寄りや寝たきりのお年寄り、心身に障害のある方を送迎し、入浴や給食、機能回復訓練などを行う「デイ・サービス」。

住み慣れた家で療養したいというお年寄りの日常生活の看護や、機能回復訓練のお手伝いをする「訪問看護ステーション」。一人暮らしで食事をつくるのが苦痛となっているお年寄りへ夕食を配達する「給食宅配サービス」などの事業が行われており、このほかにも様々な事業が行われています。

しかし、高齢化と核家族化が急激に進む社会構造の変化の中で、行政のサービスののみでは、すべての市民が満足できることは難しくなっています。

国や道、市などの行政単位での福祉

れるのが北欧諸国での福祉対策です。北欧諸国での福祉は、高福祉高負担といわれています。充実した福祉対策のために、所得の6割が税金や社会保障費として徴収される高負担。負担の大きすぎる福祉に今、考え直さなければならぬ時が来ているそうです。

「福祉」とはなんですか。福祉という言葉も、また辞書で調べてみると「さいわい。幸福」とあります。高福祉高負担もとらえかたによっては、幸福なのかもしれません。みなさんはどう考えますか。

幸せとは、人から与えられるものではなく、みんなが力をあわせてつくりだすものではないでしょうか。行政が幸せをつくりだすのではなく、行政と市民が一緒になってつくりだす幸せ。それが「登別市の福祉」と考えてはいかがでしょうか。

体験月間 '97プログラム

体験場所	体験先のP R
しんた21 (片倉町6丁目9-1) とホームヘルパー派遣世帯	自分たちで作ったお弁当を一緒に食べながら交流するとともに、ホームヘルプサービスが体験できます。小学5・6年生を対象に20名を募集する予定です。
恵寿園 (川上町277)	昭和49年に開園した老人ホームで、家庭で生活することが困難な65歳以上の方が健康で明るい生活を送っている施設です。
グリーンコート三愛 (中登別町24)	平成6年5月に開設した新しいタイプの老人施設です。病院と家庭の中間的役割を担っており、リハビリやレクリエーションを行いながら家庭復帰をめざすお年寄りが明るく楽しく生活を送っています。
登別中央病院 (青葉町34-9)	高齢者の方が多く入院し、ボランティアの方との交流を楽しみにしています。
しんた21 (片倉町6丁目9-1)	在宅で暮らしているお年寄りや障害を持った方が、自分の家でいきいきと安心して暮らせるように支援する通所施設です。
しんた21 (片倉町6丁目9-1)	さまざまな障害を持つ方の趣味生きがいづくりや社会参加を支援する通所施設です。西洋陶芸、ちぎり絵、カラオケ、音声点字ワープロ、書道などの各講座を体験できます。
しんた21 (片倉町6丁目9-1)	今まで制作した作品は市内の特殊学級や障害児施設、図書館、保育所などで子どもに喜ばれています。

体験プログラムを用意しています

ボランティア体験月間'97 8月1日(金)~8月31日(日)

- ▶参加対象 市内に居住する小学生以上の方
- ▶参加費用 ボランティア保険料300円と体験活動場所までの交通費など(食事代などの参加経費がかかる場合があります)
- ▶申込方法 7月14日(月)から7月18日(金)の9時から17時30分までに、体験プログラムの中から希望するメニューを選択し(複数の体験可能)電話で登別市社会福祉協議会ボランティアセンターに申し込みください(受入定員を上回る活動メニューについては申込順)

申し込み  
問い合わせ  
資料請求  
登別市社会福祉協議会  
ボランティアセンター  
(☎2080)

「ボランティアをしてみようと思っても、なかなかきつかけがつかめない」「参加したいが時間がとれない」「私にどんなボランティアができるのかわからない」。

そんな方のために、だれでも気軽に参加できるボランティア体験月間がまもなく始まります。

ボランティア体験月間は、市内に住む小学生以上の方なら、だれでも参加でき、その体験を通して、自分にあった活動を見つけることができます。

ボランティアを体験できる施設は、

自分にあつた  
ボランティアを  
みつけませんか

また、精力的にボランティア活動を行っているボランティア団体10団体の活動も体験することができ、体験内容は施設の1日体験や盲導犬との交流、点字体験学習などさまざまな内容の体験メニューが組まれています。

思っているだけでは始まらないボランティア。

この体験月間で、自分にあつた活動を見つけたら、様々な福祉問題に触れながら、自分たちの暮らしている「まち」を見つめ直してみませんか。

きっと自分でできるボランティア、そして、みなさんの「福祉」を見つけることができます。



今年の体験者から

ひとこと

徳保かおりさん（桜木町・20歳）

昨年のボランティア体験月間に7日間参加し、4種類のボランティアを体験しました。

グリーンコート三愛や登別中央病院などでの1日体験に参加したんですが、そこに入所している方は私たちが行くと、とても喜んでくれるんですよ。

話を聞いたり、一緒にレクリエーションをした。難しいことは特にしないんですけど、おじいちゃんたちの喜ぶ顔を見ると、ボランティアして良かったなと思いました。ボランティアって特別なことじゃないんですよ。普通の生活の中にある普通のことだと思います。いろんな方に会っている話を聞いて、勉強になることが多いですね。ボランティアに興味のある方は、まず、体験してみてください。

体験月間に参加したい！

と思った方へ

体験月間に参加したいと思った方は、事前説明会に必ず参加してください。

事前説明会に参加できない方は、原則として体験月間に参加できませんので、ご注意ください。

▶日時・場所

月日	時間	場所
7月24日(木)	10:00~11:00	しんた21
	19:00~20:00	しんた21
7月25日(金)	10:00~11:00	婦人センター
	14:00~15:00	登別公民館

※いずれかの時間帯を選択してください。

▶内容 ボランティア保険の加入手続きや資料を渡します

登別市社会福祉協議会  
ボランティアセンター  
(☎2080)

申し込み  
問い合わせ  
資料請求

ボランティア体験

受入施設・団体名	体験内容
登別市保健福祉課 登別市食生活改善推進員協議会	お年寄り向けの料理講習でお弁当を作り、ホームヘルパーと一緒に在宅の一人暮らしのお年寄りや障害を持つ方の家を訪問
養護老人ホーム 恵寿園	施設の1日体験（お年寄りの日常生活介助と交流）
老人保健施設 グリーンコート三愛	施設の1日体験（お年寄りの日常生活介助と交流、散歩の付き添い、リハビリの介助など）
医療法人 三樹園会 登別中央病院	入院者の散歩の付き添い、食事介助、話し相手、訓練介助
在宅老人デイ・サービスセンター	施設の1日体験送迎、食事、入浴、レクリエーションなどの介助やお年寄りとの交流
心身障害者デイ・サービスセンター	各種の趣味・生きがい講座の体験と障害を持つ方との交流
登別市 ボランティアの会	障害を持つ児童の訓練教材などとして利用される布の絵本や遊具の製作体験

このほかにも、たくさんの

西

走

登別小学校で、毎年恒例の「相撲大会」が6月16日(月)から25日(水)にかけて行われました。

同校の相撲大会は、春と秋の年2場所、全学年を対象に行われ、4年生以上はまわしをつけての対戦です。

児童たちの熱い戦いが繰り広げられる土俵は、登別小学校の校庭にあり、槽は「飛翔槽」と呼ばれPTAなど登別小学校

16日(月)から25日(水)にかけて行われました。

同校の相撲大会は、春と秋の年2場所、全学年を対象に行われ、4年生以上はまわしをつけての対戦です。

児童たちの熱い戦いが繰り広げられる土俵は、登別小学校の校庭にあり、槽は「飛翔槽」と呼ばれPTAなど登別小学校

はっつけよい！のこった、のこった！

伝統の相撲を愛する方たちの手作りによる本格的なもの。

6月18日(水)には、5年生2クラス(43名)のクラス別・男女別対抗戦が行われ、飛び出す技の数々は、本場の大相撲に優るとも劣りません。猫だました、猫だまし！、「まわりこめ、そこ、そこ！」と戦術的な声援もあれば、「バックドロップだ、いけー」とむちゃくちゃな声援もとび、初夏の校庭には大きな笑い声が広がっていました。



## 家族総出で最後の運動会

来年の3月に統廃合が予定されている札内小中学校で6月8日(日)に運動会が行われました。

札内小中学校は、児童数が12人の複式の小中学校です。

運動会での準備や進行などは児童生徒や先生、父母そして地域の方たちが一致団結して行う、まさに手作りの運動会です。

ボールを板ではねて、バケツで受ける「スペースシャトル」では、足に力が入りすぎて板の上に尻もちをつく方や、同じ数



字が書かれているカードを拾った者同士が、二人三脚でゴールする「恋人さがし」では、お互いの相

性が合わず、ころんでしまうペアも見られ、参加した父母は、普段の運動不足がたたっているようでした。

この日は、中国庭園「天華園」で公演中の中国雑技団のメンバーが同校を訪れ、プログラムに参加し、児童生徒や地域の人たちとの交流を深めていました。

種目によっては何度も出場する方もいて、今年で最後となる札内小中学校運動会を地域ぐるみで心いくまで楽しんでいました。

## いっぱい食べて大きくなるモー！

6月3日(火)、鉾山町の市営牧場で乳牛の放牧が行われました。

放牧面積の少ない酪農家のために、平成2年から始まった市営牧場での放牧は今年で8年目を迎え、放牧前に体重測定や消毒液の噴霧などが行われます。

この日、放牧された牛は、生後8か月から2歳のホルスタインで、体重200kgの子牛から妊娠中で体重500kgの母牛までの46頭。

牛舎から、45分の緑豊かな市営牧場にトラックで運ばれた牛たちは、少し興奮気味。牧場へのゲートが開けると、跳ね回るように走る子牛も見られました。

放牧は、冬到来前の10月下旬まで続き、放牧期間が終わるころには、100kgぐらい体重の増える牛がほとんどとか。

大空と大地に囲まれた緑の草原で、牛たちは、緊張した体重測定や消毒を忘れ、のんびりと草をはんでいました。



# 森

市民緑化推進事業の一つとして自治総合センターの日本宝くじ普及広報事業の助成を受け、5月18日(日)、市内50カ所で市民植樹が行われました。

この日は、全市一斉のクリン作戦の日で、早朝から各地区の市民がごみ拾いにあわせて実施。

市民植樹のメイン会場である新生町2丁目の「わらべ公園」では、市民約100人が参加し、同公園内の土



を掘り起こし、桜19本とプラタナス5本、ツツジ10株の苗木を丁寧に植えていました。

当日、参加した新生2丁目町内



細川信義さん

会長の細川信義さん(63歳)は、「緑は、人間が人間らしく生きるためにも重要なもの。公園はみんなの憩いの場であり、緑のオアシスです。緑を大切にすることが子どもたちに育つように、これからもいろんな機会を設けていきます。」と話していました。

## 緑で包もう わたしたちのまち

## 『サッカー』も『温泉』も愛しています♥

6月14日(土)、15日(日)の2日間、登別大谷高校グラウンドで、『第2回登別ゆうゆう杯女子サッカー大会(登別市サッカー協会主催)』が開催されました。

サッカーチームの技術の向上と親睦を深めることを目的に行われ、プロ顔負けの気合いの入った試合が繰り広げられます。

今回も昨年と同じく、旭川や函館、札幌、室蘭から8チームが参加し、試合終了後には温泉につかり、互いの健闘を称えていました。

大会創設者の一人でもある『登別エストレリータ』監督の戸文子さん(40歳)は「体力的にはきつい年齢になりましたが、まだまだサッカーはやめませんよ」とさ



一戸文子さん

わやかに笑ってくれました。第2回大会優勝は、札幌エンジェラーズ。登別エストレリータは、惜しくも準決勝で敗退しました。

## みんなで盛り上げよう！ 私たちの『のぼりべつ』

5月23日(金)、登別グランドホテルで、札幌圏に在住する登別出身者や、登別にゆかりのある有志で構成される『札幌のほりべつ会』と登別の経済団体関係者が情報交換を行う『第3回札幌のほりべつ交流プラザ』が開催されました。

この日、ふるさと登別を盛り上げるために参加した有志131名(うち札幌圏41名)は、登別の商工業を支える企業3社を視察した後、『街おこしプロポーザル(提案)部会』や『観光イベント部会』、『物産・技術開発交流部会』、『文化・

スポーツ交流部会』、『会報部会』、『レクリエーション部会』の6部会に分かれ、『登別をいかに盛り上げるか』について意見交換を行いました。

次回の札幌のほりべつ交流プラザは、10月に札幌市内で開催が予定され、情報発信や各部会ごとの提案などが行われます。商工業のみならず、スポーツやイベントなどで、ふるさとのほりべつを盛り上げるために一役買いたいと思われる方は、企画広報室(☎011-222)までご連絡ください。



▲部会ごとに行われた意見交換



▲明日の『のぼりべつ』への提案

# みどりを育むこころをつなぐ

## 元気で豊かなみどりあふれるまちのぼりべつ

### ●グリーン スピリット プラン(登別市緑化計画)●

#### みどりのネットワークづくり

本計画では、森林などの広がりのあるみどりを「面のみどり」、道路や河川のように長く連続するみどりを「線のみどり」、公園や住宅地のようにそれぞれが単独で成り立つみどりを「点のみどり」として分類、整理しました。

点のみどりは、線のみどりによって互いが結ばれ、市街地内のみどりのネットワークが形成され、線のみどりは面のみどりとつながることによって、ネットワークはさらに広がり、まさに自然の息吹が伝えられます。

また、市外のみどりと連続することにより、ネットワークは北海道全体に広がります。

#### 面のみどり／森林

#### 次代に引き継ぐかけがえのない財産

登別市の森林は、市域面積の約73%を占め、その広大な森林空間は木材の生産の場であることはもとより、私たちのまちの自然環境を支える重要な基盤であり、動植物の貴重な生息空間となっています。

また、森林は、水資源のかん養や自然環境の保全などの働きを持ち、私たちが安全に暮らすうえで重要な役割を果たしています。



▲道道洞爺湖登別線(中登別町)

森林や公園、並木、庭木などのみどりは、潤いや安らぎなど魅力ある生活環境を形成するための重要な要素の一つです。

このみどりの環境を時代のニーズにあった新しい視点でとらえ、守り育て、次代に引き継いでいくことは私たちの大きな課題です。

このため、市は、みどり豊かなまちづくりを進めるため、登別市緑化計画策定委員会を中心に「登別市緑化計画(グリーンスピリットプラン)」を策定しました。

本計画は、みどり豊かな環境づくりを、市民、企業、行政が一体となって総合的にすすめるもので、「登別市総合計画」で描いた将来像を実現するための指針の一つとなるものです。

#### みどりの目標像

- ◎一つひとつのみどりが元気に息づき、それらがまとまって豊かなみどりがあふれるまち
- ◎市民一人ひとりがみどりを育む心を持ち、意識の輪が広がるまち

#### 自然との出会いの原点・いのちをつなぐ軸線

#### 線のみどり／道路・河川・海岸

私たち共有のかけがえのない財産である森林を大切に守り育て、良好な状態で次代に引き継ぐことが私たちの責務です。

街路樹をはじめとする道路のみどりは、車や歩行者の安全な通行や防音、遮光などに役立つだけではなく、市街地景観に潤いや季節感を与える重要な要素です。

このため、街路樹の量的な拡大とあわせて樹種構成などに配慮した質的な充実を図っていきます。

水辺のみどりは、河川生態系を構成する重要な役割を果たし、河畔林などの連続するみどりは、山と海をつなぐみどりの回廊となります。

市街地内の河川は、まち中の身近な自然空間であるとともに、美しいまち並み景観を構成する水とみどりの軸線として重要な役割を果たします。

このため、水辺のみどりを守っていくとともに、新たな川の改修などにおいても積極的に水辺のみどりや水辺と触れ合うことのできるような空間をつくっていきます。



海岸のみどりは、海辺の景観を構成する重要な要素であるとともに、潮風や高潮、飛砂から背後地を守るなどの役割を持っています。このため、防潮林や海浜植物などのみどりを守っていくとともに、積極的に海岸のみどりをつくっていきます。

## 点のみどり／公園・公共施設・民有地

### 市民自らがづくりだす身近なみどりの環境

公園のみどりは、市街地における身近なみどりの拠点として地域の環境や景観に重要な役割を果たします。

学校のみどりは、次代を担う子どもたちに自然と触れ合うことのできる良好な環境を提供します。

このため、地域の拠点として、住民が日常的に訪れる場所としての公共施設の緑化を積極的にすすめるとともに、教育や地域活動におけるみどりの活用を図っていきます。

市街地全体の緑化をすすめるためには、住宅や商店、工場、事業所などの民有地のみどりが重要となります。

また、住宅の生け垣や庭木、商店街のプラントナーなどは街路樹と同様に重要な役割を果たします。

これらの民有地の緑化には、住民や事業者の自主的な取り組みが重要となりますので、そのための仕組みづくりや支援などを行っていきます。

### みどり文化の育成

豊かなみどりづくりの第一歩は、私たちの足もと、私たち一人ひとりの身近な生活空間から始まります。

私たちのまいた種が、その成長とともに私たち一人ひとりのみどりに対する意識を育てていくように、みどりとの日常的な関わりを

### グリーン スピリット プラン

このタイトルには、私たちのまち登別を「みどりを育むこころ（スピリット）をつなぐ、元気（スピリット）で豊かなみどりあふれるまちに」という思いが込められています。

▼親水空間を設けた「岡志別川」(千歳町)



市花：キク



市木：プラタナス(スズカケノキ)

市花木：ツツジ



### グリーンスピリットプラン 基本方針

1. みどりを守る  
今あるみどりを将来にわたって守り育てます。
2. みどりをづくり豊かにする  
身近なみどりの量を増やし質を高めるとともに、それらをつなぎみどりのネットワークをつくりまします。
3. みどり文化を育てる  
一人ひとりがみどりとの日常的な関わりを深め、みどりを大切にする心を養い、みどりの環境づくりへの意識を高めます。

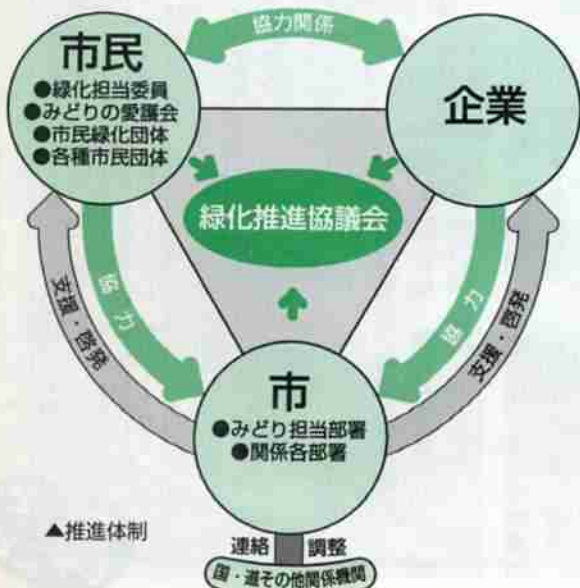
### みんなできくこころみどりの環境

深め、みどりにとけこんでいくことで、徐々にみどり文化を育て、やがてそれがみどり豊かなまちづくりの大きな推進力につながります。

このため、みどりと触れ合う機会として、市民参加のイベントやコンクールの開催、みどりに関する情報の提供などを行うとともに、全市的なフラワーネットワークづくりを進めます。

みどり豊かなまちづくりを進めるためには、市民、企業、行政が密接に連携し、お互いの創意工夫のもとに一体となって取り組んでいくことが必要です。

そのために、「緑化推進協議会」の設立や各地区ごとの「緑化担当委員」の設置、さらに公園などの各公共施設の周辺の方などにより組織される「みどりの愛護会」やフラワーネットワークづくりに取り組む「市民緑化団体」を育成していきます。



▲推進体制

# いきいき ボランティア

## 『キーボードに思いを込めて』



「以前に点訳(※)ボランティアに携わっていたので、点訳を生かせるボランティア活動をしたいと思っていました」と語る若草町の山里郁子さん。

山里さんは、心身障害者デイ・サービスの音声点字ワープロ講座の講師として仲間3人でボランティア活動を行っています。

この講座は、目の不自由な方が社会参加や自立に向けて、ワープロ技術を身につけることを目的に開講され、山里さんたちは、点字ワープロの使い方や原稿の読み上げなどを手伝っています。

音声点字ワープロは、キーボードで打ち込んだ文字を、音声で確認しながら文章を作成しますが、キーボードの操作は複雑で、使いこなすのはなかなか大変なことです。

「受講者が楽しみながら操作できるような流行歌の歌詞を読んであげたり、ときには一緒に歌いなが



らと、いろいろ工夫しています。障害を持つ方の苦勞は、自分で体験してみないとなかなか理解することができません。講座では、受講者の立場にたって、技術習得のお手伝いをするように心掛けていますが、つい手を出してしまいそうになるのを我慢し、励ましながら指導にあたっています。このボランティアに携わって、私自身も学ぶ事が多いんですよ」と「何事も前向きに」がモットーの山里さんは笑顔で話してくれました。

(※)言葉や文字を目の不自由な方が指先で読めるよう点字に直すこと。

▼問い合わせ 登別市社会福祉協議会ボランティアセンター

(☎2080)

### ちょっとひとこと

楽しかったこと、悲しかったこと、うれしかったこと、市への疑問や意見、要望などを企画広報室へ電話やはがき、封書、ファクスでお寄せください。

企画広報室 中央町6-11 ☎1122 FAX1108

### ちょっとひとこと

#### クリプトスポリジウムによる汚染で水道水は大丈夫?

先日の新聞で、人体に侵入すると下痢や腹痛を引き起こす寄生性原虫「クリプトスポリジウム」がいる可能性を示す菌が登別市内の河川で検出されたとの記事が載っていました。

水は、一日も使わずにいられないものです。どんな安全対策がとられているのでしょうか。(匿名)お答えします

総合在宅ケアセンターのみなさん、ありがとうございました

の強化などを図っていますが、河川を汚さないようみなさんとの協力をお願いします。(水道部)

クリプトスポリジウムによる感染症は、寄生性原虫に感染したほ乳動物などのふん便に混じって汚染された水や食品を摂取することによって引き起こすものです。登別市内の浄水場の浄水処理方法は、砂によるろ過などにより適切に行うとともに、水質検査を行って水道水としての安全な基準を確保しながら供給していますので、水道水がクリプトスポリジウムに汚染される恐れはありません。市は、より一層安全な水道水の供給に努めるため、家畜を飼育する農家の改善指導や水源の監視体制

私の夫は、退院後、自宅で療養生活を送っていますが、体に痛みがあるため、横になったままでは寝ることができず、ソファに腰かけたまま寝るといことがずっと続いていました。夫は何も言いませんが、私はそんな夫の姿を見ているのはとてもつらく、市の総合在宅ケアセンターに相談したところ、職員の方が我が身のこの方法に、砂によるろ過などにより、すぐに電動ベッドが手配されました。それからは、体を横にして、すぐに電動ベッドが手配されるようになりました。お仕事とはいえ、私たちのことを親身になって考え、対応してくれました。本当に感謝しています。ありがとうございます。

(匿名)

### ちょっとひとこと

紙面上では匿名でも氏名、住所、電話番号をお知らせください。なお、個人や団体への中傷や営利を目的としたお話はご遠慮ください。

### ちょっとひとこと

# 仲間たち

登別走ろう会

事務局長

小清水

和令さん

(☎0573660)

## 夢はホノルルマラソン出場へ！

登別走ろう会は、ジョギングやランニングを通じて、健康づくりや愛好者の親睦と連帯を図ることを目的として、平成2年4月に結成されました。

現在の会員数は49名で、最高齢は76歳、女性会員は13名です。練習は毎週日曜日、市営陸上競技場を発着点としてそれぞれの体力にあった距離を走り、さわやかな汗を流しています。

会を結成してから道内各地で開催される大会に参加することも多く、市内の大会をはじめ、札幌や小樽、長万部、遠くは旭川、美瑛まで足を延ばすこともあります。

ここ数年は、会員の体力も向上し、フルマラソンにもチャレンジしており、洞爺湖マラソンや千歳・日航国際マラソンなどに参加しています。特に昨年は、日本のトップレベルのランナーが出場する北海道マラソンに8名が参加し、全員完走することができました。

今年の12月には、ハワイで行われているホノルルマラソンへの参加を予定しています。



「会では、毎年8月下旬に誰でも参加できる24時間チャリティーリレーマラソンを市内で開催しており、昨年は車いすの方も参加されました。今年も開催を予定しておりますので、気軽に参加してください」と小清水さんは話してくださいました。

入会希望の方は小清水さんまでどうぞ。

# からび

登別で味わえる

デンマークのパン

「ハンス」・シエラン(登別マリンパーク・ニクス内)

マリンパークでデンマークのパンを味わえるのを存じますか。

ハンスのおすすすめは、小麦粉を材料とした「ビタ」と呼ばれる薄いパンに、牛肉と生野菜をはさんだ北欧版ハンバーガー「ビタ・ケバブ」。

デンマークではビタにラム肉をはさんで食べるのが主流ですが、ハンスでは、日本人の口に合うように、牛肉のほか、シーフード、ポテトサラダなど全部で4種類のビタをそろえています。

本場のビタを味わってもらうた

▼シエランの「カイングラ」



▲ハンスの「ビタ」



る人もいるほど、多くのファンをもっていきます。

シエランでつくっているのはデンマーク語で「王冠」を意味する「カイングラ」。

デンマークではカイングラの形をした看板がパン屋の目印になっているほど、国民の生活に根付いたパンとなっています。

ライ麦を原料とするカイングラは、デンマークではおもに主食とされ、フランスパンに似た塩味が特徴です。

シエランにはカイングラのほか、ヨーロッパ風のパン11種類を含む52種類のパンが店頭に並んでいます。

マリンパークにお越しの際は、ハンス、シエランでデンマークの味を楽しみませんか。

### ▼問い合わせ

ハンス (☎0538803)  
シエラン (☎0538817)

# あすなろ

鎌田弥生さん  
(登別東町・23歳)



登別サティ勤務

「接客業の企業に就職したかったんですよ」という鎌田さんは就職して今年で4年目。

鎌田さんは、1週間ごとに売り場内容が変わる大催事場のチエッカード(レジ業務)を担当し、職場の中心的存在として活躍しています。

職業柄、立っている時間が長く、2年前に腰を悪くしてしまいましたが、「接客業をやめようと思ったことはないですね。つらい

と思ったことはありませんよ」と笑顔の鎌田さん。

週末に休みを取れない職業なので、友達と旅行に行く時は日程調整が大変ですが、買い物などは道路なども混雑していないので、平日の休みも悪くないそうです。

「毎週、販売内容が変わるので常に新鮮な気持ちで仕事に励んでいます。毎日が勉強ですよ」という鎌田さんは、登別サティ大催事場の顔としてがんばっています。

清掃工場内に集積されたごみ

減らそうごみ！

生かそう資源！

ごみの分別 もう一度  
おさらいをしましょう

「私のところでは、ごみをちゃんと燃やせるごみと燃やせないごみに分けて出しているのに、なぜ、また同じ内容の記事なの？」  
「回収できるごみと回収できないごみの区別はちゃんと知っています。」

そうおっしゃらないでください。いつもごみの分別では市民のみなさんにはご協力をいただいています。この場を借りて改めてお礼申し上げます。

でも、もう一度、ご自分の家庭の周りを見渡してみてください。本当に「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」に分けて、ごみステーションに出しているでしょうか。決められた日にきちんと出していますか。

「燃やせるごみ」の袋のなかに「燃やせないごみ」が入っていませんか。

そこで、くどいようですが、今言では「ごみの分別」と「リサイクル」についておさらいしてみたいと思います。

# 捨てる前にもう一度チェック

燃やせないごみ(週一回)



茶わん・皿 紙オムツ ビニール・ラップ類 ペットボトル



発泡スチロールトレイ じゅうたん タンス 建具類

金属類・あき缶・雑びんはリサイクルへ

- 刃物や割れたコップなどのガラス類はきちんとこん包してから
- 容器類は、ふたをはずして、中をすすいで
- 乾電池や水銀体温計は中が見えるよう透明な袋に入れてから、他のごみと区別して
- じゅうたん類は、切るか小さくたたんで
- 分解できるものは、バラにして束ねて
- 収集車に積み込める大きさに

燃やせるごみ(週2回)



果物の皮 卵のから 紙くす



料理くす 木くす

料理くすなどの生ごみは、たい肥化して、花や家庭菜園へ

- 台所から出るごみは、水をよくきってから
- 木くす類は、長さ50センチ、重さ10斤ぐらいにしてから
- ごみは袋詰めにして口をしぼるか、こん包して

市が収集しないごみ

排出禁止物  
排出禁止物は販売店や専門の業者許可業者に相談してください

◆一時的に多量にでるごみ(ごみ袋6袋以上)



自分で直接、市の処理施設に持っていくか、許可業者に依頼してください

◆事業系ごみ



プロパンガスボンベ



消火器



タイヤ



オートバイ・スクーター



劇物・農薬の容器



バッテリー



廃油



冷蔵庫

## 市環境衛生課職員からのお願い



清掃業務係 秋葉佳久

以前に比べたらごみの出し方もよくなりましたが、まだ分別が徹底されていません。市で収集しないタイヤがごみステーションに出ていることがあります。車のバッテリーを出すのもやめてほしいですね。ごみ収集車の火災につながるスプレー缶やカセットコンロのガスボンベのガスを抜かないで出すのも困ります。ごみ処理の費用を減らすことにつながるごみの分別をもっとお願いします。

美観や衛生面、さらには交通安全、全上や収集効率などから、市は、ネット式(無形化)ごみステーションを勧めています。

### ネット式(無形化)ステーション 助成制度のご利用を

自宅付近のごみステーションはきれいでしょか。ごみステーションは、ごみの一時的な置き場所です。ごみが散乱しないようみんなで話し合って、順番で掃除をするなど、ステーションのまわりをきれいにしましょう。

### ごみステーションをきれいに

固定式のものからネット式に変える場合は、助成を受けることができます。希望する町内会は、「リサイクル推進室」へご連絡ください。



▲ネット式(無形化)ごみステーション

ごみを出す人にもマナーは必要です



# リサイクルできるごみ



## 第2種回収資源

## 第1種回収資源

第2種回収資源は、町内会で決めた集積場所にあるドラム缶に入れ、リサイクル協会が回収しているものです。(市内で、66町内会が実施)

※この資源は、市内の資源回収業者で組織する登録資源リサイクル協会が回収します。

次のごみは、第1種回収資源と呼んで、区別しているもので、町内会が実施して資源回収業者が回収しているものです。

新聞紙・雑誌・ダンボール・空きびん・衣類  
牛乳パック

### 第2種回収資源

金属類

冷蔵庫・テレビなどの家電類は金属類がほとんどなので出さないでください。自転車はタイヤを外して出してください。



金属類は、

の横に

資源ごみは、ごみステーションに出さずにあき缶・雑びんポスト(ドラム缶)に

あき缶

コーヒーやコーラ、ジュースなどの缶。アルミとスチール(鉄)の区別はいりません。つぶさずに出してください。



雑びん

無色透明、茶色、その他に分けて出してください。口金を取って、びんの中のものを入れな



「リサイクルハウス」を活用してください



▲のほりべつリサイクルハウス

昨年2回実施したリサイクルハウスの公開では、スキーやスケート、家具、パソコン、学習机に人気が集まりました。

リサイクルハウスは、市民のみならずから提供されたリサイクル品を無料で提供するもので、清掃工場横のリサイクルハウス(幸町2-14)で毎年2回程度公開して、抽選でお分けします。

リサイクルできるスキーやスケート、家具などを提供できる方は、ぜひ提供してください。

リサイクルハウスの公開日は、広報のほりべつでお知らせします。

問い合わせ

リサイクル推進室

(☎ 2958)

## もっともっとリサイクルを!

まつ松 やま山 まこと惇 さん  
(若葉町内会)



私のところは、若山町4丁目と栄町3丁目の一部の区域で、約200世帯の町内会です。町内会での一番の関心は「ごみ」ですね。

以前、リサイクルのモデル地区に指定されてから、みんなのごみ意識が高まって、ごみを資源として考えるようになりました。特に紙であるあき箱やトイレットペーパーのしんまで「資源ごみ」として出していますよ。

もったいないという心をこれからも大事にしていきたいです。

## クリーンリーダーからひとこと

ささ かわ かず お さん  
笹川和男 さん  
(新川第2町内会)



クリーンリーダーになってから約7年経ちました。私は、ごみ分別の協力をお願いやあき缶を拾ったりしていますが、いま、町内会では、ごみの出し方のマナーが良くなるようにと、ごみステーションの掃除当番を決めることにしました。

ごみ収集日以外にごみを出さないでほしいですね。分別もきちんとしてほしいですね。継続するのは大変ですが、各家庭できちんとやってほしいです。

# きらり

## 第6回YOSAKOIソーラン祭りに出場した『のほりべつ舞・舞・舞』のチームリーダー

たけなみ えみこ  
竹浪恵美子さん  
やまだ みつえ  
山田美津恵さん  
かわくち かなこ  
河口可奈子さん  
まえだ ちかこ  
前田史子さん

6月6日(金)から3日間、全国各地から過去最高の183チームが参加し、初夏の札幌を熱狂で包んだ「第6回YOSAKOIソーラン祭り」。

6月7日(土)と8日(日)に出場した登別市唯一のチーム、「のほりべつ舞・舞・舞」のチームリーダー4人に話を聞きました。

◆「全国的にも有名になったこのお祭りにぜひ出場したいと思い、去年の8月にチームを結成しました。」

◎どのくらい練習しましたか

◆「普段は2時間の練習を週2回していますが、本番近くには週3回の練習をこなしました。」

◎どんなことに苦労しましたか

◆「踊りの振り付けは、札幌のジャズダンス教室の先生に教えていただきました。私たちリーダーは、それを総勢約80人の踊り手に教えるのですが、私たちが踊りを完全に覚えていなければ、踊り手にもまく伝わらないという苦労がありました。」

◎出場したときの感想をお聞かせください

◆「興奮と感動の2日間でした。」

初出場とあって、みんな緊張していましたが、大勢の観客がいる大通公園のステージで、トップバッターで踊ったことが自信につながりました。1年がかりの練習の成果を2日間で披露するだけに、踊り終えたあとの感動と充実感は忘れられないですね。」

来年もみんなで感動を分かち合おうと早くも練習に励んでいる舞・舞・舞のみなさん。チームでは、男女を問わず若い踊り手とスタッフを募集しています。申し込めは小玉さん(☎02170)または山形さん(☎03469)



▲左から竹浪さん、山田さん、河口さん、前田さん



# 遊遊 自適

きたがわ まさと  
北川正人さん(66歳)

中央町

## 『天空に舞う空飛ぶじゅうたん』

ウルトラライトプレーン(機体重量が220kg以下の飛行機・超軽量動力飛行機)を操り、軽快に空を飛ぶ北川さんが、飛行機に興味を持ったのは、旧制中学時代にグラライダーに乗ったのがきっかけ。15年前にウルトラライトプレーンの魅力に魅せられ、今では6機の愛機を所有し、「大空から離れられなくなりました」と笑う北川さん。



「空を飛んでみると心解放されますね。ウルトラライトプレーンは、まるで空飛ぶじゅうたんのような乗り心地ですよ。」と空の話をする北川さんの笑顔は少年のようです。



「空とはこれからずっと付き合っていきたいですね。よく事故について心配されますが、事故率からいくと自動車よりもよほど安全です。ウルトラライトプレーンで空を飛びたいという方がいればお申し出ください。少し費用がかかりますが、しっかりと空の楽しさをお教えします。」と話す北川さんは空の男の魅力があふれています。

白老町北吉原の日本航空専門学校で滑走場や学生相手に技術指導し、その合間をみても自分の飛行機で空を飛び、心身共に充実した生活をおくっています。天気の良い日には、飛行機の格納庫と滑走路のある札内町に足が向いてしまっているとか。

「約200mの上空から下を望むと、えぞ鹿の集団やきつねの姿も見え

(連絡先は☎0342北川さん)

# かると

親子で楽しもう  
「ファミリー紙ねんど教室」  
文化・スポーツ振興財団

月日	時間	場所
7月28日(月)	10:00 ~ 12:00	婦人センター
7月29日(火)	10:00 ~ 12:00	市民会館
7月30日(水)	10:00 ~ 12:00	鷺別公民館

▼対象 市内の小中学生の親子(子どもだけの参加もできますが、113年生は父母同伴となります)

▼内容 紙ねんどを使った工作(事前に制作するものを決めて、当日その写真や絵を持参ください)

▼参加料 200円(紙ねんど代)

※参加料は当日持参ください。

▼持参するもの 古新聞、ねんどペラ(ない場合は割りばし)、紙コップ、乳酸菌飲料の容器、おしぼり

▼申し込み・問い合わせ 7月18日(金)までに文化・スポーツ振興財団(☎011-116)

## ホームヘルパー養成研修

### 3級課程受講者募集

市は、室蘭市・伊達市と3市で、ホームヘルパー養成研修を実施します。

▼対象 福祉に熱意・関心をお持ちの方や、将来ヘルパーとして活動したい方

▼定員 登別・室蘭・伊達市あわせて30名

※定員を上回る場合は、抽選により決定します。なお、受講通知は7月下旬に送付します。

▼研修期間・研修時間 8月18日(月)~8月29日(金)の10日間(土・日を除く) 9時~17時

▼場所 鉄南ふれあいセンター

▼受講料 1万円(テキスト代、保険料ほか)

▼申込方法 7月7日(月)から7月25日(金)までに保健福祉課または社会福祉課に備え付けの申込書で申し込みください

▼問い合わせ 保健福祉課(しんた21内☎0100)

## エキノコックス症感染に気をつけて!

エキノコックス症は、エキノコックス虫の卵が、人間の口から体内に入ることによって感染します。

山に入る機会が多くなるシーズンを迎え、エキノコックス症の感染を防止するために、次のことに注意しましょう。

◎ 沢水や小川の生水は飲まない

◎ 山菜などはよく洗い、十分加熱してから食べる

◎ キツネにえさを与えたり、えさになる生ゴミを放置しない

▼エキノコックス症に関する問い合わせ 室蘭保健所(☎011-9131)または保健福祉課(しんた21内☎0100)

## 宇宙体験教室を開催します

- ▶日時 8月12日(火) 9時20分~15時40分
- ▶場所 室蘭工業大学(室蘭市水元町 ☎4181)
- ▶定員 小中学生100名(希望者多数の場合は抽選となります) ※なお、室蘭市外からの参加は、父母同伴となります。
- ▶参加料 無料
- ▶持参するもの ペットボトル(1.5ℓ3本)、はさみ、サインペン
- ▶内容 宇宙についての講義・映画の上映、ペットボトルロケットの製作・打ち上げなど
- ▶申込方法 往復ハガキで7月18日(金)(必着)までに、〒060-88札幌市中央区北3条西6丁目北海道総合企画部科学技術振興課に申し込みください
- ▶記入方法
  - ①往信用ハガキに「宇宙体験教室参加希望」と明記のうえ、住所、氏名、年齢(学年)、学校名、電話番号、同伴する父母の氏名を記入してください
  - ※1枚のハガキで2名以上申し込む場合は、全員の住所、氏名などを記入してください。
  - ②返信用ハガキの表面に申込者(2名以上の申し込みの場合は代表者)の住所、氏名を記入してください

## マタニティーサークルを開催します

妊娠中の歯の手入れをしていますか。歯科教室と友達づくりのための交流を中心にマタニティーサークルを開催します。

- ▶日時 7月18日(金) 13時~15時
- ▶場所 しんた21
- ▶内容 歯科医師の講話、歯の検診、歯みがき指導、交流会

申し込み 保健福祉課(しんた21内☎0100)

## 守ろう大切な家族

### やっつけようO-157

昨年、全国各地で食中毒を引き起こし、猛威を振るった病原性大腸菌O-157。

今年に入ってからも、道内で感染者が出るなど再び流行の兆しを見せています。

食中毒の発生を未然に防ぐには、家庭での予防対策が最も大切ですので、日ごろから食中毒の予防に努めましょう。

申し込み 問い合わせ 北海道総合企画部科学技術振興課(☎011-231-4111)



## さわやか子育てセミナーを 開催します

教育委員会は、3歳以下の子どもを持つ親を対象に、さわやか子育てセミナーを開催します。

月日	時間	場所
7月11日(金) 7月18日(金) 7月25日(金)	10:30   11:50	婦人センター
7月15日(火) 7月22日(火) 7月29日(火)	10:30   11:50	市民会館
7月17日(木) 7月24日(木) 7月31日(木)	10:30   11:50	鶯別公民館

▼定員 各会場とも親子10組(申込順)

▼内容 幼稚園長の講話、保健婦との子育てについての懇談会など

▼参加料 600円(保険料)  
※各会場で託児をします。

なお、4歳～5歳のお子さんを対象とする子育てセミナーは、8月から9月の間に行う予定です。

▼申し込み・問い合わせ 7月2日(水)から7月9日(水)までに社会教育課(☎1100)

## 給水装置工事主任技術者 経過措置講習会受講者募集

平成8年6月の水道法の改正により、平成9年度から「給水装置工事主任技術者」が国家資格となり、こ

の資格を取得するためには、国家試験を受けることが必要となりました。ただし、地方公共団体の水道条例またはこれに基づく規定による給水装置工事責任技術者の資格をすでに

お持ちの方は、厚生大臣の指定を受けた経過措置講習会を受講でき、その課程を修了すれば、国家試験を免除されます。

▼申込方法 7月15日(火)までに工務課に備え付けの受講希望調査票で

申し込みください  
▼問い合わせ 工務課

(☎5510)

## 市街化区域・市街化調整区域の見直し

昭和45年に決定された市街化区域と市街化調整区域は、これまでに3回の見直しが行われました。

市街化区域とは、おおむね10年後の人口の規模や建築・産業の動向を予測し、土地利用計画にもとづいた住み良いまちづくりをすすめるため、安全で快適かつ計画的な市街地形成を図る区域のことで、おおむね5年ごとに見直しが行われます。

市街化調整区域とは、市街化を抑制すべき区域として区分されます。

現在、登別市・室蘭市・伊達市の3市で、市街化区域と市街化調整区域の見直し作業を進めており、平成10年9月ごろの決定を目標にしています。

▼問い合わせ 都市計画課

(☎4115)

## 室蘭地方气象台を一般公開します

- ▶日時 7月13日(日) 11時～15時
- ▶場所 室蘭地方气象台(室蘭市山手町)
- ▶内容 気象観測測器・地震計などの展示、ビデオ上映、パソコンゲームなど

問  
い  
合  
わ  
せ

室蘭地方气象台防災業務課  
(☎4249)

## ふれあいと対話が築く明るい社会 第47回社会を明るくする運動

毎年、7月1日から31日までの1カ月間、全国一斉に青少年の非行防止と、罪を犯した人の更生の援助を目的とした「社会を明るくする運動」が展開されます。今年も、各関係団体などの協力のもとに「第47回社会を明るくする運動登別地区実行委員会」を設け、街頭パレードや児童生徒、婦人を対象とした映画会、地区懇談会、公開ケース研究会を行います。  
※街頭パレードは7月24日(木)に行われますが、詳細については7月15日号の広報のほうりべつでお知らせします。

▶問い合わせ 社会福祉課(☎1911)

## 子どもまつりを開催します～登別子ども劇場～

楽しいお店や、体験コーナーを開きます。親子で一緒に楽しみませんか。

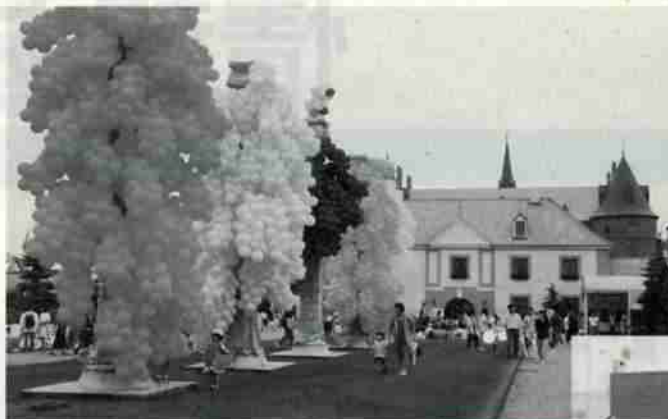
- ▶日時 7月13日(日) 10時～13時
- ▶場所 幌別西小学校体育館
- ▶内容 お面屋さん、スライム屋さん、小麦ねんどコーナーなど
- ▶参加料 200円(2歳以上)
- ▶申し込み・問い合わせ 7月9日(水)までの月・水・金曜日の10時から14時の間に登別子ども劇場(☎2511)

## 土器を焼いて みませんか

のほうりべつ野焼きの会は、第7回野焼きを行います。参加希望の方は事前に申し込みください。

- ◎作品作り
- ▶日時 7月27日(日) 9時～15時
- ▶場所 登別地方高等職業訓練校
- ◎野焼き(作品の焼成)
- ▶日時 10月12日(日) 9時～15時  
(雨天は10月19日(日)に延期)
- ▶場所 青葉運動広場横
- ▶参加料 2,500円
- ▶定員 50名(申込順)
- ▶申し込み 津村さん(☎6585)

▼昨年のフラワーパレットのほりべつ



▼昨年ののほりべつ豊水まつり



## このまちが 好き

夏だ！祭りだ！

登別が熱い！

待ちに待った、祭りのシーズンがやってきました。

今年も市内で、いろいろな祭りが行われます。

夏の一日を、祭り色で染めてみませんか。

◎のほりべつ豊水まつり

▼月日 7月19日(土)、20日(日)

▼場所 JR幌別駅西口前広場

▼内容 かき氷早食い競争、水上かるた取り大会、北海自衛

太鼓、新しい踊り『豊水トントン』など

▼問い合わせ 登別商工会議所

(☎)4111

◎フラワーパレットのほりべつ

▼月日 7月19日(土)、20日(日)

▼場所 登別マリンパーク・ニクス前庭

▼内容 巨大な足跡(風船迷路)、フラワーパレットダー

ビー、屋台村、花の里親など

▼問い合わせ 勝間さん

(☎)1005

となりまち

## ホットライン

### 室蘭市

今年も熱い季節がやってきた！

むろらん港まつり開催です

今年で51回目を迎えるむろらん港まつり。登別、伊達、白老などのチームを加えた、総勢50名の「よさこいソーランインむろらん」や、20数基のみこしがねり歩く「室蘭ねりこみ」、もちろん恒例の花火大会も行われます。

みなさんおそろいで、ぜひお越しください。

▼期間 7月25日(金)～27日(日)

▼主なプログラム

◎納涼花火大会：25日(金) 20時5分～20時45分

◎室蘭ねりこみ：26日(土) 18時～21時(中央町)

◎よさこいソーランインむろらん：27日(日) 15時～17時(中島町)

▼問い合わせ 室蘭観光協会

(☎)0102

### 伊達市

伊達の夏の海を彩る有珠磯まつりにお越しを

伊達の夏本番を迎える風物詩として、有珠海水浴場を会場に「第17回有珠磯まつり」が行われます。

今年も新鮮な海の幸の即売や、ビンゴゲーム、ミニ四駆大会、マリッジットの体験試乗など盛り沢山のイベントを用意しています。大人から子どもまで楽しめる内容ですので、ぜひご家族でお越しください。

▼日時 7月6日(日)

▼場所 有珠海水浴場

▼内容 海産物の即売、ステーシヨ、ビンゴゲーム、遊びの広場(小さな水族館、スラムダンク、輪投げ、ダーツ、つりゲーム)、ミニ四駆大会など

▼問い合わせ 有珠磯まつり実行委員会事務局

(☎)0142-33331 内線3334

